

北九州医療・介護連携プロジェクト

「医療・介護連携ルール」活用状況調査（結果）

令和4年3月

「医療・介護連携ルール」活用状況調査（対象：ケアマネ事業所）

1. 調査目的

- 「とびうめ@きたきゅう」の令和元年11月からの八幡地区でのモデル実施、令和2年6月からの全市展開、そして「医療・介護連携ルール」の運用開始から一定期間が経過したことを受け、「医療・介護連携ルール」の運用状況等を把握するための調査を、ケアマネ事業所を対象に、昨年度、初めて実施。
- 今後も、運用状況を継続的に把握していくため、昨年度に引き続き、調査を実施した。

2. 調査概要

- **病院からケアマネ事業所へ、利用者が入院された際に連絡が来ているか**について（「医療・介護連携ルール」が運用されているか）、調査票を市内の全ケアマネ事業所に送付し、回答状況を集計した。

3. 調査期間

- 令和3年11月29日（月）から令和3年12月24日（金） ※約1か月間

4. 回答率

- 55.2%（216/391事業所）※小規模多機能事業所を含む
《昨年度 44.6%（175/392事業所）》

5. 調査期間中の入院件数

- **598件**（救急入院・当日入院・その他入院）
《昨年度 459件》

○結果要点（その1）

【病院→ケアマネ事業所】

- ①病院から入院3日以内に連絡があった **304/598件（50.8%）** 《昨年度 50.8%》
- ②病院から入院4日以降に連絡があった 31/598件（5.2%） 《昨年度 7.0%》
- ③病院から連絡がなかった 263/598件（44.0%） 《昨年度 42.3%》
- ※②+③ = **294/598件（49.2%）** 《昨年度 49.2%》

➤ 「③病院から連絡がなかった」についても、病院から家族を経由してケアマネ事業所に連絡してもらっているなど、「ケアマネ事業所に全く連絡がない」ということではない。

*参考：救急入院・当日入院のうち、とびうめ@きたきゅう登録者・非登録者を抽出

病院 → ケアマネ事業所 への連絡	救急入院			外来受診後の 当日入院		
	3日以内	4日以降	連絡なし	3日以内	4日以降	連絡なし
全体	48.6% (144/296件)	4.7% (14/296件)	46.6% (138/296件)	51.5% (88/171件)	6.4% (11/171件)	42.1% (72/171件)
うち、とびうめ登録者	56.7% (34/60件)	3.3% (2/60件)	40.0% (24/60件)	57.6% (19/33件)	0% (0/33件)	42.4% (14/33件)
うち、とびうめ非登録者	46.6% (110/236件)	5.1% (12/236件)	48.3% (114/236件)	50.0% (69/138件)	8.0% (11/138件)	42.0% (58/138件)

➤非登録者に比べ、とびうめ登録者の方が病院からケアマネ事業所に3日以内に連絡した比率が高い。

○結果要点（その2）

【ケアマネ事業所→病院】（病院から入院の連絡があったもの（前ページ①+②）について集計）

- ①ケアマネ事業所から3日以内に情報提供をした 264/335件（78.8%） 《昨年度 80.0%》
 - ②ケアマネ事業所から4日以降に情報提供をした 9/335件（2.7%） 《昨年度 3.0%》
 - ③ケアマネ事業所から情報提供していない 62/335件（18.5%） 《昨年度 17.0%》
- ※②+③= 71/335件（21.2%） 《昨年度 20.0%》

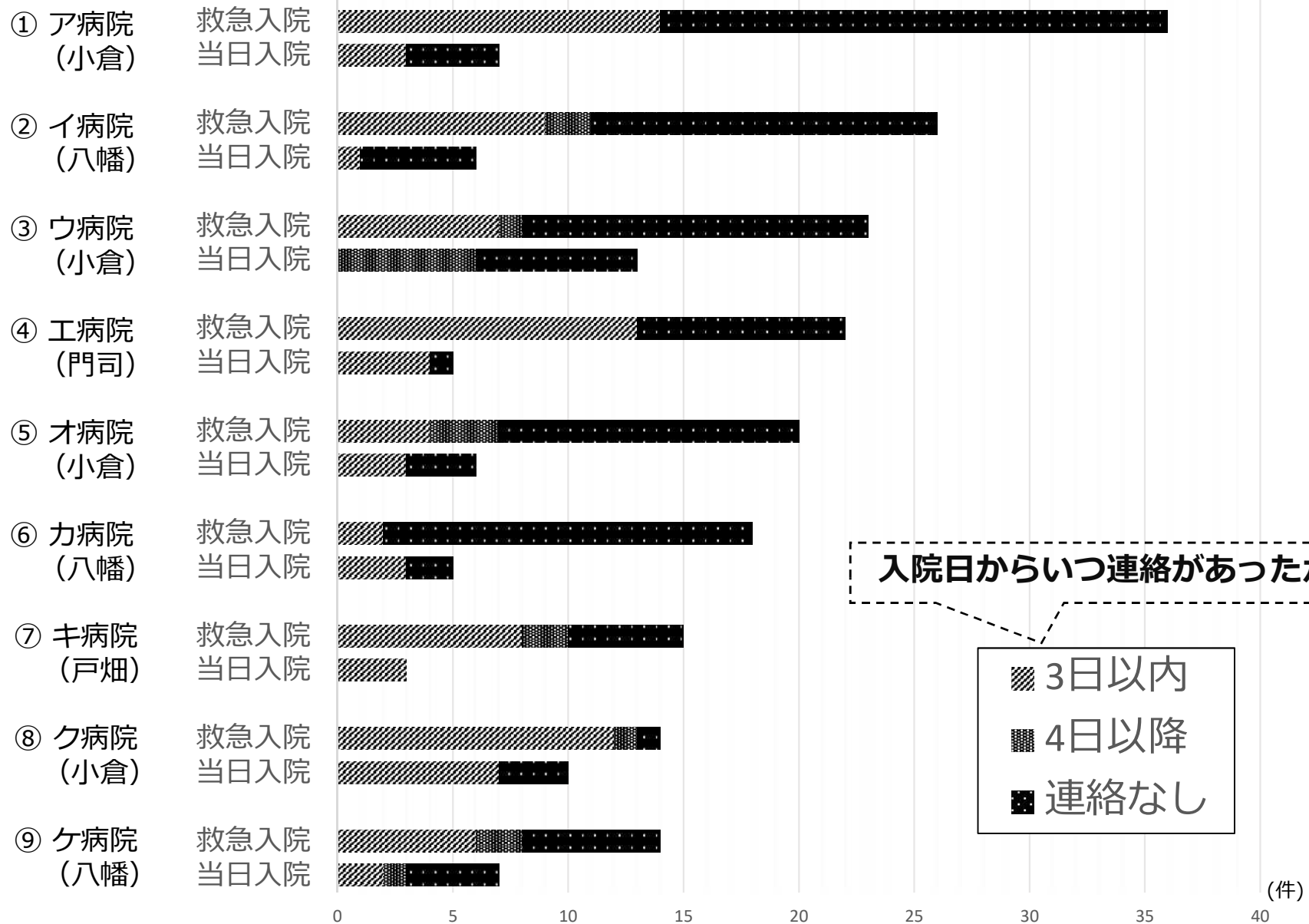
*参考：病院から連絡があった全入院のうち、ケアマネ事業所が情報提供を行っている入院別内訳。

病院から連絡があった全入院	ケアマネ事業所→病院への情報提供	全体	うち救急入院	うち当日入院	うちその他の入院
		情報提供を行った	81.5% (273/335件)	83.5% (132/158件)	76.8% (76/99件)
	入院を知ってから <u>3日以内</u>	<u>78.8%</u> (264/335件)	82.3% (130/158件)	<u>74.7%</u> (74/99件)	<u>76.9%</u> (60/78件)
	入院を知ってから 4日以降	2.7% (9/335件)	1.3% (2/158件)	2.0% (2/99件)	6.4% (5/78件)
	情報提供なし	18.5% (62/335件)	16.5% (26/158件)	23.2% (23/99件)	16.7% (13/78件)

➤ケアマネ事業所から病院へ3日以内に情報提供を行った比率は、救急入院が比較的高い。

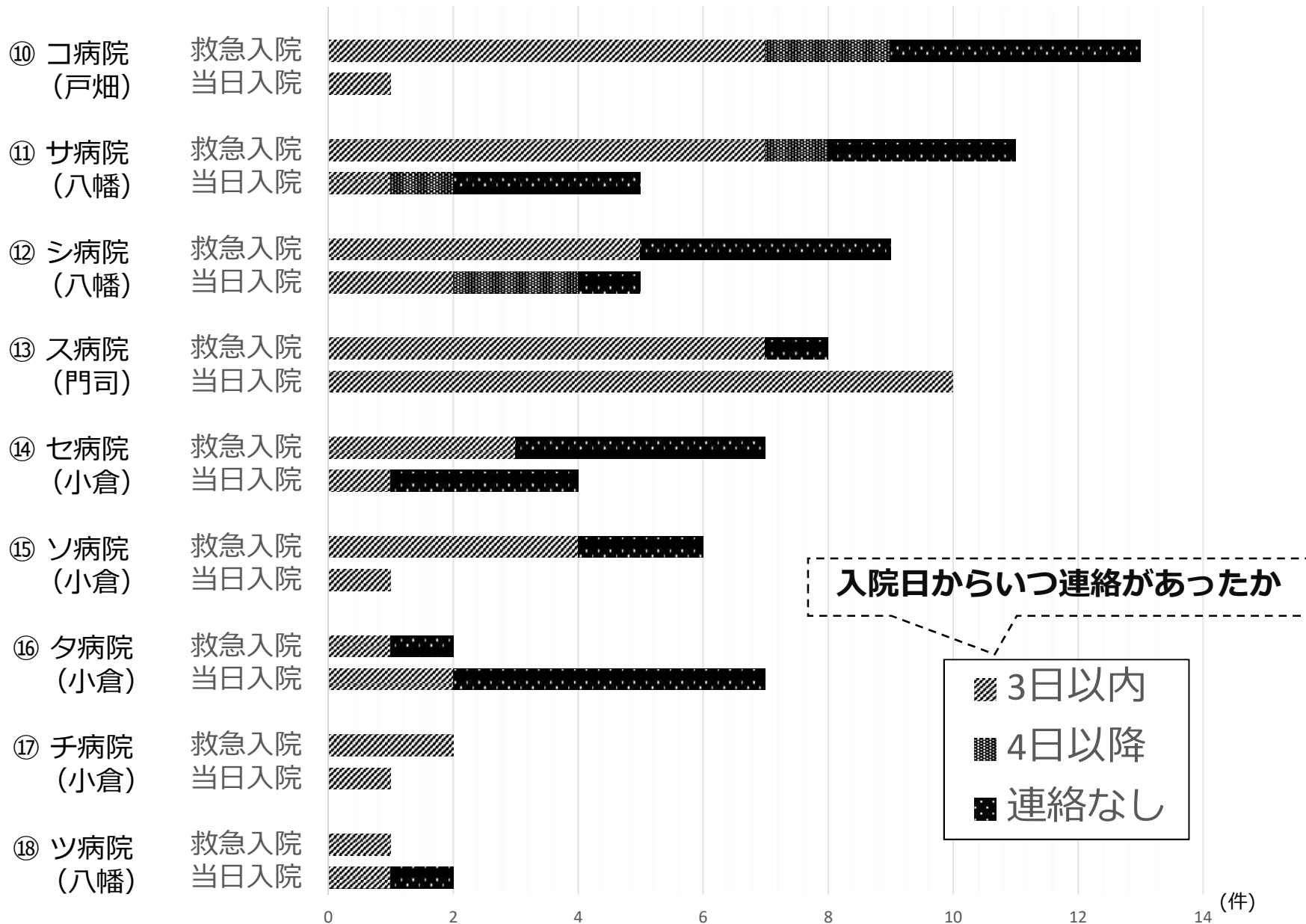
病院からケアマネ事業所への 「利用者が入院しました」の連絡

※R3.11.29~R3.12.24の救急入院、当日入院について、市内のケアマネ事業所に調査したもの



入院日からいつ連絡があったか

- 3日以内
- 4日以降
- 連絡なし



それぞれ、病院によっても取組状況はマチマチ。

※「連絡なし」についても、病院から家族等を経由してケアマネ事業所に連絡をしてもらっているなど、「ケアマネ事業所に全く連絡がない」とまではいえない。

ケアマネ事業所から見て「誰から利用者入院の連絡があったか」

病院	連絡をくれた人		連絡があった件数
	家族	その他	
○	○	○	1.7%(10/598件)
○	○		25.4%(152/598件)
○		○	8.0%(48/598件)
○			20.9%(125/598件)
	○	○	1.0%(6/598件)
	○		30.9%(185/598件)
		○	12.0%(72/598件)
56.0%(335/598件)	59.0%(353/598件)	22.7%(136/598件)	
← 57.7%(265/459件)	↑ 49.7%(228/459件) 上昇	← 35.3%(162/459件)	← 昨年度（参考）

- ・「病院からの連絡」は『やや低下』したものの、「家族からの連絡」は『上昇』。
- ・「病院→家族→ケアマネ事業所」への連絡ルートも有効ではあるものの、入院当初から医療・介護の専門職同士の連携を図ることが可能となる
「病院→ケアマネ事業所」の連絡体制をより徹底する必要がある。

○まとめ（ケアマネ事業所調査）

- 全般的に、前回調査結果との大きな差はみられなかった。
- 利用者の入院の5割について、入院して3日以内に病院からケアマネ事業所に連絡があった（その他についても、家族などを経由して連絡はあっている）。
一方、病院からケアマネ事業所に連絡のあったケースのうちの8割について、ケアマネ事業所から病院に利用者情報の提供をしていた。
- ケアマネ事業所に利用者の入院の連絡をくれた相手方で、最も多かったのは、
前回は病院（57.7%）であったが、今回は家族（59.0%）であった。
- 病院から家族などを経由して連絡する方法も有効的ではあるものの、
入院当初からの切れ目ない医療と介護の連携を促がしていくためにも、
病院からケアマネ事業所への連絡体制をより徹底していく必要がある。

参考：ケアマネ事業所を対象に実施した調査（病院からの連絡があった日 - 入院日）

利用者が入院した
ことの連絡の有無

56.0%
(335/598件)

44.0%
(263/598件)

（病院から連絡がなかった）
（病院以外から連絡があった）

病院から連絡のあった日数（全入院種別）

全入院種別	全体		とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	56.0%(335/598件)	59.2%(74/125件)	55.2%(261/473件)
入院日以前	入院日以前	3.5%(21/598件)	3.2%(4/125件)	3.6%(17/473件)
	入院3日以内	47.3%(283/598件)	53.6%(67/125件)	45.7%(216/473件)
	入院4日以降	5.2%(31/598件)	2.4%(3/125件)	5.9%(28/473件)
連絡なし	44.0%(263/598件)	40.8%(51/125件)	44.8%(212/473件)	

救急入院	全体		とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	53.4%(158/296件)	60.0%(36/60件)	51.7%(122/236件)
入院日以前	入院日以前	0.3%(1/296件)	1.7%(1/60件)	—
	入院3日以内	48.3%(143/296件)	55.0%(33/60件)	46.6%(110/236件)
	入院4日以降	4.7%(14/296件)	3.3%(2/60件)	5.1%(12/236件)
連絡なし	46.6%(138/296件)	40.0%(24/60件)	48.3%(114/236件)	

外来受診後の 当日入院	全体		とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	57.9%(99/171件)	57.6%(19/33件)	58.0%(80/138件)
入院日以前	入院日以前	2.3%(4/171件)	—	2.9%(4/138件)
	入院3日以内	49.1%(84/171件)	57.6%(19/33件)	47.1%(65/138件)
	入院4日以降	6.4%(11/171件)	—	8.0%(11/138件)
連絡なし	42.1%(72/171件)	42.4%(14/33件)	42.0%(58/138件)	

その他の入院	全体		とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	病院から連絡があった	59.6%(78/131件)	59.4%(19/32件)	59.6%(59/99件)
入院日以前	入院日以前	12.2%(16/131件)	9.4%(3/32件)	13.1%(13/99件)
	入院3日以内	42.7%(56/131件)	46.9%(15/32件)	41.4%(41/99件)
	入院4日以降	4.6%(6/131件)	3.1%(1/32件)	5.1%(5/99件)
連絡なし	40.5%(53/131件)	40.6%(13/32件)	40.4%(40/99件)	

参考：ケアマネ事業所を対象に実施した調査(情報提供を行った日 - 病院から連絡があった日)

利用者が入院した
ことの連絡の有無

56.0%
(335/598件)

44.0%
(263/598件)

(病院から連絡がなかった)
(病院以外から連絡があった)

病院から患者入院の連絡を受けた後の病院への情報提供の有無と日数（全入院種別）

全入院種別	全体		
	情報提供を行った	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	81.5%(273/335件)	86.5%(64/74件)	80.1%(209/261件)
病院連絡以前	9.6%(32/335件)	9.5%(7/74件)	9.5%(25/261件)
	連絡後3日以内	74.3%(55/74件)	67.8%(177/261件)
	連絡後4日以降	2.7%(9/335件)	2.7%(2/74件)
情報提供なし	18.5%(62/335件)	13.5%(10/74件)	19.9%(52/261件)

救急入院	全体		
	情報提供を行った	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	83.5%(132/158件)	91.7%(33/36件)	81.1%(99/122件)
病院連絡以前	8.2%(13/158件)	11.1%(4/36件)	7.4%(9/122件)
	連絡後3日以内	74.1%(117/158件)	77.8%(28/36件)
	連絡後4日以降	1.3%(2/158件)	2.8%(1/36件)
情報提供なし	16.5%(26/158件)	8.3%(3/36件)	18.9%(23/122件)

外来受診後の 当日入院	全体		
	情報提供を行った	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	76.8%(76/99件)	78.9%(15/19件)	76.3%(61/80件)
病院連絡以前	13.1%(13/99件)	5.3%(1/19件)	15.0%(12/80件)
	連絡後3日以内	61.6%(61/99件)	73.7%(14/19件)
	連絡後4日以降	2.0%(2/99件)	-
情報提供なし	23.2%(23/99件)	21.0%(4/19件)	23.8%(19/80件)

その他の入院	全体		
	情報提供を行った	とびうめ登録者	とびうめ非登録者
	83.3%(65/78件)	84.2%(16/19件)	83.0%(49/59件)
病院連絡以前	9.0%(7/78件)	10.5%(2/19件)	6.8%(4/59件)
	連絡後3日以内	67.9%(53/78件)	68.4%(13/19件)
	連絡後4日以降	6.4%(5/78件)	5.3%(1/19件)
情報提供なし	16.7%(13/78件)	15.8%(3/19件)	16.9%(10/59件)

○参考：病院窓口ガイドについて、使用しての感想や追加・変更を希望する点①

<記載内容、記載方法について>

- ・ 地域連携室の電話番号とFAX番号が記載されているので助かります。
- ・ 各病院の連絡窓口がわかりやすく、連絡しやすく助かります。
- ・ 入院時に連絡を取る際に「病院窓口ガイド」を活用している。連絡先がすぐにわかるので助かっている。

<病院との連携について（良くなった点）>

- ・ 病院と連携する際の窓口や連絡方法を知るツールがあるのでスムーズに対応できる。
- ・ 情報提供の際に病院側から「それは何ですか？」と聞かれることがなくなった。
- ・ 窓口ガイドが作成されてからスムーズに連携できるようになり、大変有効に活用できている。
- ・ 当初はたらい回されたことがあったが、徐々に浸透している印象が強い。とてもありがたいと感じる。
- ・ 入院時、すぐに連絡をしてもSWも理解できないことも多く、家族に仕事等あれば（土日を含んだり）3日以内の連絡が困難なこともあります。今月はたまたま入院が無かったものの、大きな病院への連絡は難しい時があります。そういいながらも、2年前と比べると医療からの連絡は全体に増えたと思います。現在、入院中の方も状況の共有をしながら支援について話し合っています。

<病院との連携について（課題）>

- ・ 入院時情報提供書をFAXしたいのだが、まず病院の電話交換受付につながり、そこから何度も転送される病院が多々ある。
- ・ 居宅が医療機関へ情報提供しても、全く連絡なく、退院・転院している場合が多く、退院時にサマリーを利用者経由でいただいても、居宅として必要と思われる情報がないため、うまく連携するツールとして活用できていないと感じている。
- ・ 入院後、病院から連絡が無いことの方が多く、当社からご連絡させていただいています。近況や介護サービス状況等報告し退院が決まる前にカンファレンスを希望しています。
- ・ 家族から入院の知らせを受け、病院に連絡したが、まだ担当（CW）が決まっていないと情報提供できない事があった。
- ・ 病院窓口ガイドにのっとして、入院時の情報提供のための連絡をするも、先方の病院（医療連携室）の担当者が病院窓口ガイドの存在を知らないのか、別の窓口を案内されることが多々ある。

○参考：病院窓口ガイドについて、使用しての感想や追加・変更を希望する点②

<要望>

- ・ 病院窓口ガイドは参考しやすく、病院との連携のための下準備が容易になった。毎年度発行して欲しい。
- ・ 北九州市内の入院施設病院全てを載せて欲しい。
- ・ あいうえお順に載せて欲しい。探すのが手間。

<その他>

- ・ 便利に活用させて頂いています。
- ・ とても参考になる。
- ・ 毎回確認し、役立っています。
- ・ 門司区や小倉北区から新規の依頼のある病院に関しては日頃から連携を取っている為、頻繁に病院窓口ガイドを利用する事はあまりないが、日頃連携していない病院に関しては病院窓口ガイドを利用している。
- ・ やり取りをしたことのない病院の場合は参考になります。
- ・ 新規担当した方には、「とびうめ@きたきゅう」を積極的に勧めております。
- ・ 門司区内及び某病院などは以前から入院時情報提供や、入院中の病院訪問（コロナ以前）は細かめに行っていましたので、変わりなく続けています。とびうめネットも利用しましたが、結局、日常の様子などを書面でお知らせする必要があり、ネットは情報不足になりがちです。

○参考：その他自由記載①

<病院との連携について（課題）>

- ・ 入院時に連携をしたにもかかわらず、こちらから退院時は連絡して欲しいと伝えていても連絡なく退院をしていることが何度かみられた。
- ・ この期間（調査期間）ではなく、8月頃でしたが、担当ケアマネが変わっていることを知らずに、病院より連絡が入りました。そのことを病院の窓口と言うも、「こっちに言われても知りません」とのことでした。とても上から目線で嫌々話されていたことが印象に残りました。
- ・ 病院により対応の温度差がある。顔の見える連携を図ることが出来ている病院とは密接に情報交換できるので、こちら側が病院にどんどんアプローチしていくことで改善可能と考えているが、本質的に連携が難しいと感じる病院があるのも確かである。連携室が機能していない病院とは連携が図れないと感じる。
- ・ 入院時の担当看護師がとびうめの件について認識が無い。入院時情報提供について知らない。退院前カンファについても知らなかった。
- ・ 医療・介護連携ルールのツール（運用・活用）自体に問題はなく、連絡もスムーズにしているが、病院によっては把握した情報が連携室と病棟で共有できていない。また、病院によっては単に「ケアマネジャーに退院の予定連絡をした。」＝連携したということになっている。※連絡と連携の違いが理解できていないと感じることがあった。（個人のスキルの問題だろうが…）
- ・ 入院の連絡を受けて、病院へ連絡したが、担当MSWが決まっていないので情報が必要かわからないと言われる。担当のMSWが決まったら連絡してもらいたいと依頼したが、まったく連絡が無く、退院も住宅型有料老人ホームからの連絡だった。こちらから連絡しても対応がない場合はそのままにしているのか？
- ・ 調査期間に入院はありませんでしたが、入院の際、3日以内に病院から連絡を頂けることは少ないです。ほとんど、当日か次の日に本人や家族からの連絡で知ることが多いです。
- ・ 入院当日の連携窓口が明確でない。入院時情報提供書を交付していても、目を通していないのか、介護度やサービスの回数などの問い合わせのTELが入ることが多くある。
- ・ 入院時に情報提供しても退院の連絡がない場合がある。

○参考：その他自由記載②

<病院との連携について（良かった点）>

- ・ お蔭様で、病院の方から連絡を密にいただけるようになりました。コロナ感染予防もあり、入院中に面会ができなかった分、色々と情報を頂いております。当初は、はりきって申込手続きを促しておりましたが、コロナの件もあり、時間経過と共に誰が手続きをしたか、はっきりしない事もあります。来年は改めて促進して行きたいと思っております。
- ・ 以前よりも病院から入退院の連絡をしていただけるようになったため、助かっている。

<「とびうめ@きたきゅう」について>

- ・ ご利用者へ提案するとそれはいいねと喜ばれます。
- ・ 介護認定申請と同じにとびうめが登録できるようになって、利用者、ケアマネの負担が軽減できた。
- ・ 「とびうめ@きたきゅう」の説明をするが関心がなく、あまり周知されていないことから登録に至っていない。システムの効果などわかりやすく提示できたら、と思いますが、そんなことをしなくてもかかりつけ医がいるから、と言われることが多いです。自分には必要ないとも答えられます。

<「医療・介護連携ルール」について>

- ・ 年未年始にかけて、入退院が多く、思うような情報提供ができていません。
- ・ 日祭日などを挟むと連携が遅れてしまい、ご迷惑をお掛けします。
- ・ 入院時には速やかに情報提供が行えるよう努めています。
- ・ 病名や入院の経緯などを知ることが出来るので、情報提供した時に収集できて某病院はとてもありがたいです。
- ・ 入院時情報提供書を活用しています。
- ・ とびうめネットを見て病院からの連絡は1例もなかった。